

## 地域密着型サービス事業所の自己評価項目（自己評価結果表）

（調査項目の構成）

### I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

### II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

### III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を生かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
  - (1) 一人ひとりの尊重
  - (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援
  - (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援
  - (4) 安心と安全を支える支援
  - (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり
  - (1) 居心地のよい環境づくり
  - (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり

### V. サービスの成果

#### ※記入方法

- 管理者が介護従業者等と協議し記入すること。
- グループホームの場合は、ユニットごとにその管理者が介護従業者等と協議し記入すること。
- 取り組みの事実を実施している内容、実施していない内容の両面から記入すること。
- 取り組んでいきたい項目に○を記入し、すでに取り組んでいることも含めて、取り組んでいきたい内容を記入すること。
- サービスの成果は取り組みの成果に該当するものを○印で囲むこと。

#### ※項目番号について

- 評価項目は、100項目です。

事業所名 社会福祉法人 てくたね

ユニット名 グループホーム 南

自己評価実施年月日 平成 20年 11月 28日

記録者氏名 岡崎 知洋

記録年月日 平成 20年 11月 7日

## 自己評価票

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>			
<b>1. 理念と共有</b>			
1	○地域密着型サービスとしての理念  地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	基本理念を以下の様に心掛けて取り組んでいます。 ・安心出来る生活環境の整備 ・その人らしさを大切にする ・地域に開かれた施設を目指す ・一人一人の可能性を見出す	・毎日の環境整備（掃除・整理整頓）居室清掃、衣類のチェック、棚の整理は担当制で実施 手摺り椅子の肘掛など定期的に消毒、清拭を実施しています。
2	○理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を共有し、協働して、毎日環境整備を行い（居室は担当制）入居者の意向に寄り添ってその人らしさを表出できるよう関わっている。ケアプランも満足度が充足できるよう個別性の高いサービス内容を上げて取り組んでいます。	保険の更新時、プランの、見直し、変更時などの担当者会を随時開催し、ケアプランの中に個別性、その人らしさ、その人の自立への可能性を限りなく求めて、援助を実施します。・いきいき体操の施設開放、職員派遣、地域防災会への定期参加を実施しています。
3	○家族や地域への理念の浸透  事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	・元氣いきいき体操を通して関わりを深める ・ケアプランへの理念の繁栄を行っています ・運営推進会議や随時の家族会の中で ・地域の祭りへの参加、種崎保育園児との交流 ・防災避難拠点として、地域との防災訓練の実施	
<b>2. 地域との支えあい</b>			
4	○隣近所とのつきあい  管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	・日々の散歩の中での挨拶 ・庭で遊ばれている子供との交流 ・地域防災会議への定期出席 ・避難訓練（地区の）時の協力等を通じて対話や交流が深まるよう努めている。	散歩や日々の接触の中で挨拶したり、お声を掛けてコミュニケーションを図っています。
5	○地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	・地域のお祭りの参加 ・地区避難訓練での協働 ・元氣いきいき体操（毎週土曜日）へ職員派遣 ・定期的地域防災連携会議へ出席	

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	<p>○事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる</p> <p>・元氣いきいき体操への職員派遣 ・避難施設としての貢献 ・地区防災会議での要支援者のマップ作りへの参加</p>	○	機会があればトリアージについて説明とその実施に取り組みたい。
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p> <p>・ご入居者を中心に、その意向を最優先し、満足度の高い、介護の質が保証できる施設でありたいという意識を忘れる事なく、常にアセスメントを行い必要な事はすぐに改善できるように業務管理委員会他6つの委員会で話し合っ改善に取り組んでいる。</p>	○	・外部評価を真摯に受け止めスタッフで話し合い、共有、協働して出来る事から順番に改善実施し再評価も行う。
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p> <p>・ご入居者様の現況をご家族様に適切にご報告し、課題があればその解決に向かって実施している内容、これから実施している内容をお伝えし、ご家族様、地区防災会長、市職員様のご意見を頂き、出来る事から取り組んでいます。</p>		・運営会議の結果をスタッフと共有し、協働してサービスの向上に努めている。
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p> <p>・法令を遵守し、安心して過ごして頂く為に介護保険課、東部包括支援センター、元氣生きがい課他関係機関と連携を取り適正な事業所の運営により、サービス向上に努めています。</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p> <p>権利擁護に関する制度の活用は現在は、ありませんが年間教育計画の中で研修への参加などにより学習を深め、必要時、活用できるように取り組んでいる。</p>	○	・スタッフ全員が権利擁護・成年後見制度について十分熟知していませんので、施設内勉強会を開き周知徹底します。
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている</p> <p>昨年末に精神的、身体的虐待があり通報により市、介護保険課計画指導係の監査を受けました。そして改善命令に従って順次研修への参加、虐待防止についての施設内勉強会を開催し以後、虐待とおぼしき行為はありませんが常にご入居者様の尊厳が守られているか、毎朝のミーティングで虐待防止の意思統一を図り取り組んでいます。</p>	○	<p>・虐待防止</p> <p>・傷や内出血などがあれば、分析し必ずケース記録に残し管理者に報告している。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約の目的、内容、期間から解約、賠償責任、緊急対応などなど、分かりやすく理解できるように説明を行い、同意を得て契約を締結しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞きやすい雰囲気作りをしている。</li> <li>・本当に理解しているか確認している。</li> </ul>
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当施設の苦情や不満受付、担当者、電話番号、対応時間を丁寧に説明、又公的機関の苦情処理についても説明の上、苦情が寄せられたら、即、対応し、適正に運営を行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電話・面会時・担当者会・運営推進会議などで、苦情や不満などについて話合っている。</li> </ul>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面会、電話での現況報告（訪問看護・往診結果含む）</li> <li>・金銭台帳の定期的確認をお願いし署名又は捺印を頂いています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面会・担当者会・家族会でも現状を伝え話し合っている。</li> <li>・小さなケガや内出血、転倒についても、家族に報告しています。</li> <li>・受診代行時、その結果を報告している。</li> </ul>
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議</li> <li>・苦情処理の伝達</li> <li>・苦情箱の設置</li> <li>・第三者委員を1名、選任している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦情は宝であり速やかに対応し改善に努めている。</li> </ul>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎朝のミーティング（15～30分）</li> <li>・業務管理委員会他6つの委員会での検討</li> <li>・個別での意見交換などを通して意見を聞き、業務に反映させていきます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種委員会に全職員が委員長や委員として役割を持ち意見交換を行い、結果をユニットに伝達し、業務に反映している。</li> </ul>
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・急な欠員に関しては、管理者が補充勤務をしている。</li> <li>・イベントや地震・防災訓練などは通常より多くの人員を配置している。</li> </ul>	<p>○</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来、2名の補充に取り組んで生きたい。</li> </ul>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
18 ○職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	・4月より異動はありません。ただ2名パートの方が離職しましたが仕事への意欲欠如と、他職への転職でした。利用者へのダメージを抑える為に残されたスタッフで精一杯フォロー努力にてカバーしました。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>			
19 ○職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	・新人にはプリセプターを3ヶ月～6ヶ月付けて、能力アップの充実を図っています。 ・スタッフ全員それぞれの経験別にクラスターしまして年間教育計画に添ってスタッフの育成に取り組んでいます。又、施設内研修を定期的に行い、希望があればその教育指導を行っています。		
20 ○同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	・近隣ホームの見学を行い、対応について、記録物について意見交換したり、情報提供を行っています。各研修会での交流、意見交換をとうしてネットワーク作りを行い相互に電話や文書交換(資料)を行っています。	○	・他ホームでの交流研修を行いたいです。
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み  運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	・委員会や勉強会の場で意見要望を聞きストレスの軽減に努めている。 ・出来る限り無理の無い勤務シフトを実施するよう心掛けています。 ・スタッフの仕事、精神状態を把握し、声掛けや、話し合いの場を設けています。	○	・チームワークとしてのケアマインド(共助、協働)の充実と向上を目指したい。
22 ○向上心を持って働き続けるための取り組み  運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	・スタッフそれぞれの経験や心構え、仕事に対する姿勢などを勘案して7つの委員会で複数の役割を持ってもらい、仕事に対する責務・役割を認識して積極的に取り組めるよう工夫しています。 ・介護福祉士、ケアマネージャー、計画作成担当者、管理者試験の該当者は100%受験出来るよう応援しています(勤務調整・費用の法人負担)		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>			
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	初回面接時からゆっくと親切に分かりやすく説明をしたり、本人の意向、どうなりたい、どうしたいなどをしっかりと受け止め、要望に添って生活出来るように話し合い信頼関係を深めるように努力しています。又、入居者もじっくりと側で話を聞き信頼関係を深めています。	機会ある毎に、側に寄り添って話を聞いています。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	初回面接時から家族の意向を良く聞き今後の人間関係を深めるように取り組んでいます。面会時にも家族と本人の状態や悩みについて相談をしています。	・家族会や、運営推進会議、担当者会議、面会時など折に触れ話し合っています。 ・特に面会には近況報告や家族の相談を受けている。
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時、その内容を見極め緊急性のあるものは、その事に即応出来るように関係機関との連携を取っています。他事業所との調整が図れるよう支援している。	
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	・入居前に本人家族による見学を可能な限り実施しています。また居室の装飾ベット、ダンスの位置までこのみに合わせてもらっています。 ・入居者とお茶を一緒に飲んで頂き歓談しています。	・入居希望時は二人以上職員が見学・面接・入居時（施設長・管理者・ケアマネージャー・スタッフ）に関してなじみの関係が出来るように努めています。 ・居室を本人の意向にそって整えたり電話を設置したり、出来る限り家族にも訪問して安心して過ごせるよう取り組んでいます。
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>			
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	・本人と一緒に掃除をしたり、衣類を片付けたり調理や後片付けなどを行っています。 ・調理の味付けを教えて頂いたりしている。 ・懐メロをみんなで唄って昔を懐かしんだりして楽しく過ごしている。	・レクリエーション時には（職員のボランティア協力）、車椅子対応の利用者様が全員参加出来ている。 ・日常の外出や散歩時にも全員協力して実施している。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28	○本人を共に支えあう家族との関係  職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	・職員はその時々の入居者の状態に合わせて相談し合い、共に支えあっている。家族地域交流会に参加してもらっている。また定期的な宿泊や外出で支えていく関係を作っている。		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援  これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	・本人と家族の理解に努め、入居あるいは面接時のアドバイスなどで関係作りを支援している。また面会時には、居室やソファなどでくつろいで過ごせるように支援している。外出・外泊の促進を図り家族の協力のもと実施している。		家族との自由な外出、外泊支援。宿泊時の過ごしやすい環境づくりを行っています。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	・馴染みの方がいつでも、会いに来られる環境作りや家族と出かける機会の支援をしている。		
31	○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	・共同生活の場として他の入居者への誘いや入居者同士の会話を取り持つなど支援している。		・居室相互の訪問を行い親睦を行っています。 ・会話を取り持ち仲間作りを支援している。
32	○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	・退居後も、入院などで住居が決まっていない方の荷物を預かったり、長期入院により戻れなくなった方の復帰については待機待ち1番での可能性を探ったり、身寄りのない方については精一杯フォロー、支援を大切にしている。退居後、亡くなられた方のお見送りの行っている。		

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>			
<b>1. 一人ひとりの把握</b>			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	・初回面接から始まって、担当者会議で（更新時・見直し・変更時）には本人の意向を必ず聞いて、暮らしに繁栄させている。又、四季折々、日々の中で食べたもの、見たもの行きたい所などを聞いている。	意向の表現が出来ている方については入居者本位に基づいて検討している。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	・本人、家族、ケアマネージャー、主治医、包括支援センター、認定係、施設、サービス事業所、その他関係機関などから情報収集し、アセスメントに活かしている。	
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	・34項目と同様に情報を集め分析、評価を行い、生活全般を総合的に捉えて、支援できるようにしている。	・入居後も一人一人の生活リズムやパターンを把握し拡大出来る能力を観察し記録しています。
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	・課題分析するにあたり、精一杯情報収集し、分析評価した上で本人・家族・担当介護者・ケアマネージャー・管理者・施設長など多く意見を聞いてより良いケアマネジメントが出来るように実施している。	本人、家族の意向を第一に介護計画を作っている。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	・日々の援助の中で観察（アセスメント）を密にし、変化を見逃さず、又、本人、家族の希望などに変更が生じれば即担当者会を開催し、併せて病院より退院した時は必ず再アセスメントを行い、介護計画の見直しをしている。	



項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p> <p>実施したケア内容に添って具体的に客観的にありのまま記録に残し、継続した介護が適切に出来るようにしている。</p>	○	<p>根拠に基づいて判断・援助が十分と言えず、その事が記録に繁榮し、モニタリング出来るよう指導する。</p>
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>			
39	<p>○事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p> <p>家族のいる、いないに関らず受診援助（家族に代わって病院受診付き添い）買い物代行・散髪援助・依頼購入や介護保険の代理申請、郵便物の発送などを行っている。</p>		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>			
40	<p>○地域資源との協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している</p> <p>避難施設としての役割が地域に浸透しており、町内会・防災会・保育園、小学校と連携を密にし、消防避難訓練を協働で行っている。</p>		
41	<p>○他のサービスの活用支援</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている</p> <p>・いきいき体操に参加し毎月・毎土曜日10:30～11:30まで職員を派遣し地域住民への体操指導を行っている。</p> <p>・訪問看護を毎週金曜日に利用者全員がサービスを受けている。</p>		<p>行政の実施している市内でのいきいき体操の交流会への参加や職員研修にも参加している。</p>
42	<p>○地域包括支援センターとの協働</p> <p>本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している</p> <p>必要時、包括支援センターとし協働してケアマネジメントを行っている。2月/1回の運営推進会議に東部支援センターの係長の参加があり、ご意見、ご指導を頂いている。</p>		
43	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p> <p>定期的に往診をお願いしており、体調変化のある時は家族もしくはホームスタッフが受診同行を行っている。主治医には何でも相談し健康管理を行っている。</p>	○	<p>スタッフの全てが主治医との対応が出来るよう学習指導を実施して行く。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
44 ○認知症の専門医等の受診支援  専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	訪問診察及び受診を通して相談・治療が受けられるよう支援している。		・
45 ○看護職との協働  利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	・当ホームの看護師（施設長）に（24時間体制）相談指導を受けたり。 ・訪問看護の看護師に指導を受けながら、入居者様の生命の安全を守り健康管理を行っている。	○	・今後も訪問看護師や施設長に継続して相談指導を受ける。 ・勉強会を通して医療の専門性を全職員で深める。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働  利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	愛宕病院との医療連携が充実しており（訪問診療・主治医）（訪問看護）入居者様の状態も理解されているので現在は問題無く入院の受け入れ、早期退院に向けての連携はスムーズに出来ている。		・入院時の情報提供、早期退院に向けて、施設、病院訪問を行い支援している。
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有  重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化に対する指針の説明をし同意を得た上で変化があれば家族スタッフで話し合い、対応できるよう取り組んでいる。	○	・重度化に対して本人、家族の意向を大切にしながら、快く終末期に対面できるよう支援してまいります。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援  重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	状態の悪い時には関係機関と即連絡を取り終末期の支援が円滑に出来るようにスタッフ間で共有している。家族が病院で看取りたいとの希望がある場合、連携病院・その他の病院で医療看護が受けられるような体制にしている。終末期での状態により最後ホームでと家族が望む場合には、そのように対処します。また看護師でもある施設長に報告し、指導を受けています。		状態の変化を適確に把握し、早い段階で出来る事、できない事をチームとして理解し、遅滞なく終末期医療介護がスムーズに出来るように普段より啓蒙を図りたいと思います。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	退居前に関係者と話し合いを持ち、十分に情報を提供し、その後の支援が円滑に出来るように努めている。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>			
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>			
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>			
50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	スタッフ一同、個人情報保持条例に基づいて対応している。個人個人の尊厳を守り、入居者様の立場に立って、接遇に注意を払い、丁寧に誠実な対応をスタッフ一同心掛けています。記録物（パソコン含む）の保護については鍵を掛け外部に流出しないよう対策を取っている。	継続してプライバシーの保護と個人情報の保持、秘密保持に努める。
51	<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	日常生活援助から始め食事の内容、飲み物、運動、ゲーム、レクリエーションなどの希望を事ある毎に声掛けし、引き出すように努めている。	継続して自己決定が一人一人の可能性の限り出来るように工夫、支持する。
52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	食事内容・入浴時間・就・床時間、休養について個別性を重視し、ケアプランに基づき取り組んでいる。	
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>			
53	<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>衣類の購入時、本人の希望を取り入れている。</li> <li>本人同行して頂き商品を選んでいる。</li> <li>2ヶ月に理容師により整髪の支援をしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族の意向に添っておしゃれの工夫をしている。</li> <li>一人の方は本人の意向に添っておしゃれの工夫をしている。</li> </ul>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
54	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>		
55	<p>○本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>		
56	<p>○気持ちよい排泄の支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している</p>		おむつ外しのプランに添って一人でも達成出来るように継続する。
57	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>		
58	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・眠い時、しんどい時には臥床し休息を取っている。</li> <li>・高齢者の余備力や組織耐生能力の低下を考えて、その時の状態をその日までモニタリングを念頭に於いてアセスメントし健康管理に必要な根拠を見出してスタッフが適正に判断し個別の対応を講じられるよう教育する必要がある。</li> </ul>
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>			
59	<p>○役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・洗濯物を畳む・料理の下ごしらえ・掃除等の役割を決めてはいないものの、決まった利用者様、数名が「(掃除・調理) やろうか?」と声を掛けてくれる事がある。</li> <li>・気晴らしとして散歩・外気浴などを行っている。</li> </ul>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	・自己管理出来る入居者様には小額を持たせている。 ・外出時には使用している。 ・ほとんどの入居者様は、施設長が管理し、その都度、引き出し、お祭りや買い物時に好きな物を買っている。		
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	・頻繁に庭や芝生の上、近所まで散歩に出ている。 (車椅子の人も含め全員)	○	四季折々の花や、普段いけない所にドライブする機会を増やすように取り組みます。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	・希望があれば車で買い物などに一緒に出かけている。 ・海を見に行ったり・公園まで車で出かけ、公園内を散策している。	○	・温泉での入浴、外食の実施に向けて取り組む。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	・手紙は直ぐに一緒に読んで聞かせたり、自分で読んでもらっている。2名の入居者様は居室に電話を置いており必要時に連絡を取っている。		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	施設はオープンであり、いつでも、訪問していただける様に、努めている		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束委員会を通して拘束の内容はスタッフ一同理解しており、拘束ゼロで運営しています。		・12月3日拘束の研修会へ3名出席予定。 ・身体拘束ゼロのケアを促進継続する。


項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>		<p>身体拘束防止委員会を中軸に拘束ゼロを続けています。拘束についての同意書はありますが使用した事はありません。</p>
67	<p>○利用者の安全確認</p> <p>職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している</p>	○	<p>・常に入居者様を視野に入れ安全確認を行います。</p>
68	<p>○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている</p>		<p>スタッフ相互の情報提供をもとにリスクマネジメントを意識して取り組んでいます。</p>
69	<p>○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる</p>	○	<p>誤嚥、窒息時の対応として再度、ハイムリック法、背部叩打法の指導徹底を図りたい。</p>
70	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている</p>	○	<p>救急処置についてはスタッフ全員がマスター出来ておらず、年内に勉強会を開催します。</p>
71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	○	<p>非常時の入居者様の食料の備蓄が遅れている為、再検討する。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
72	<p>○リスク対応に関する家族等との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている</p>	<p>・まずは担当者会議の中で、問題提起しリスクマネジメントについて説明し必要な事はプラン・立案・実施・モニタリング・アセスメントしながら対応しています。</p>	<p>事あるごとに本人・家族・スタッフ間で話し合っ て調整しています。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>○体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている</p>	<p>・常に観察（アセスメント）に努め少しの変化でも、看護師（施設長）に報告し一般状態の確認、評価、判断に努めバイタルサイン異常があれば連携病院への受診又は救急搬送により適正に対応・処置を講じています。</p>	<p>○</p> <p>ヘルパー・介護福祉士・エビデンスに基づいた医療、看、介護面でのアセスメントが弱いので、施設内教育でステップアップに取り組めます。</p>
74	<p>○服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>・処方された薬の効能書をチェックしその関連した内容を確認の上、服薬確認を行っています。状態によりモニタリングを行いその効果や症状の経過をアセスメントし記録し報告しています。</p>	<p>糖尿薬・下熱鎮痛薬、緩下剤、降圧利尿剤、心臓狭心薬などポピラーな薬については概ね理解していますが精神薬、睡眠薬、抑制薬など学習を深める為に取り組んでいます。</p>
75	<p>○便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる</p>	<p>・便秘については竹内式の年間研修をスタッフ4名が受講の上、現場で個別的にプランに乗せて取り組み下剤を使用しなくても排便できるようになった利用者もいます。（運動・食事・水・マッサージ・腹圧・定期誘導）</p>	<p>・毎朝、牛乳を飲用している。 ・歩行運動、腹部マッサージの実施。 ・水分補給1500mlを目指している。 ・繊維質やゼリーなどの提供。 ・下剤の廃止に取り組み。</p>
76	<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている</p>	<p>・毎食後、口腔の清潔ケアを実施。 ・定期的に歯科医師による口腔診断・治療を受けています。</p>	<p>・食物残渣物のチェックを必ず行っている。</p>
77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>・栄養士による献立表に基づきバランスの良い食事を提供しています。 ・糖尿の方の食事コントロール及び一人一人の嗜好にあった取り組みをしています。 ・嚥下状態に合わせた食事の提供。</p>	<p>・主治医と連携して栄養状態のチェック。 ・脱水予防。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	・感染対策委員会を中心に手洗い（一処置一手洗い）嗽の実施 ・台所、トイレ、手摺り、風呂の衛生管理の徹底を図っている。 ・感染マニュアルに従って業務遂行している。		感染症対策マニュアルに添って衛生管理を実施、感染防止を継続する。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	・インフルエンザ予防接種入居者・スタッフ共に実施 ・台所、水周り調理用具の衛生管理を徹底して行っている。新鮮な食材を購入し、その取り扱い、保存を衛生的に行っている。		・台所付近、調理用具などのハイター消毒、食器乾燥。 ・手摺り椅子などのアルコール消毒、手洗いの実施。 ・継続して、食中毒予防と衛生管理に努める。
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>				
<b>(1)居心地のよい環境づくり</b>				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	・玄関の清潔環境を整えベンチを設置、飲料水販売コーナーもフリーで活用して頂いています。近所のみなさま、子供達も庭に遊びに来られます。		環境調整を図り親しみやすい場を提供します。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	・玄関や入り口に花を活け、四季折々の飾りつけなど工夫しています。又、ホール・居室の壁には絵や折り紙などの飾りつけをし、生活感をかもし出しています。 ・風呂はひのき風呂で個人浴を行っている。		快く過ごして頂ける環境を継続して整えます。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファやベンチを活用してくつろいで過ごせる場所を提供しています。 ・キッチンも対面式となっており、ご入居者様とコミュニケーションが取れるようになっている。		



項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいき たい項目)	取組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>		もう少し、家族や身寄りのない方の居室のうるおいが出るように工夫していきます。
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている</p>		
<b>(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり</b>			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>		
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している</p>		唄・カラオケ・ゲーム、回想法を用いて脳を刺激し意識の覚醒を図り、活力が高まり少しでも自立へ向かう支援を継続します。
87	<p>○建物の外周りや空間の活用</p> <p>建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている</p>		

(  部分は外部評価との共通評価項目です )

V. サービスの成果に関する項目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
項 目		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらいの ③利用者の1/3くらいの ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

**【特に力を入れている点・アピールしたい点】**

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

- ・入居者様の尊厳を守り安心して生活の出来る満足度の高い介護を目指しています。
- ・内外の研修や勉強会への参加により教育の向上を図り毎朝のミーティングでは振り返りを行い、即実践するように取り組んでいます。
- ・7つの各委員会に於いて、役割を持ってもらい日頃から問題意識を持ってアセスメントが適確に出来るような指導を実施しています。
- ・先ず整理整頓、清潔第一を心掛けています。
- ・おむつ外し、便秘の改善及び立位、歩行などの機能訓練を毎日取り組んでいる。